



# 独立行政法人医薬基盤研究所

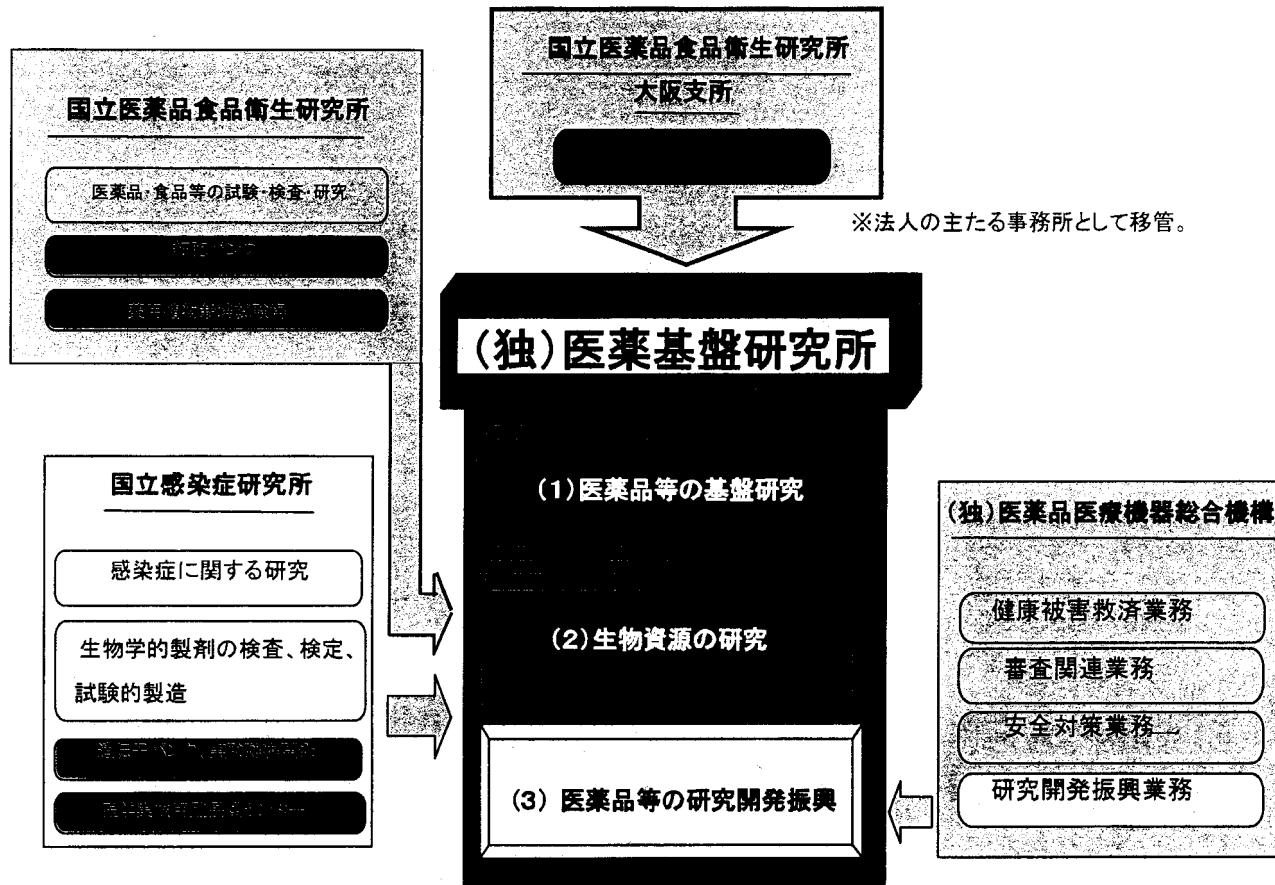
厚生労働科学審議会科学技術部会

平成19年4月12日

# 1. 医薬基盤研究所の概要

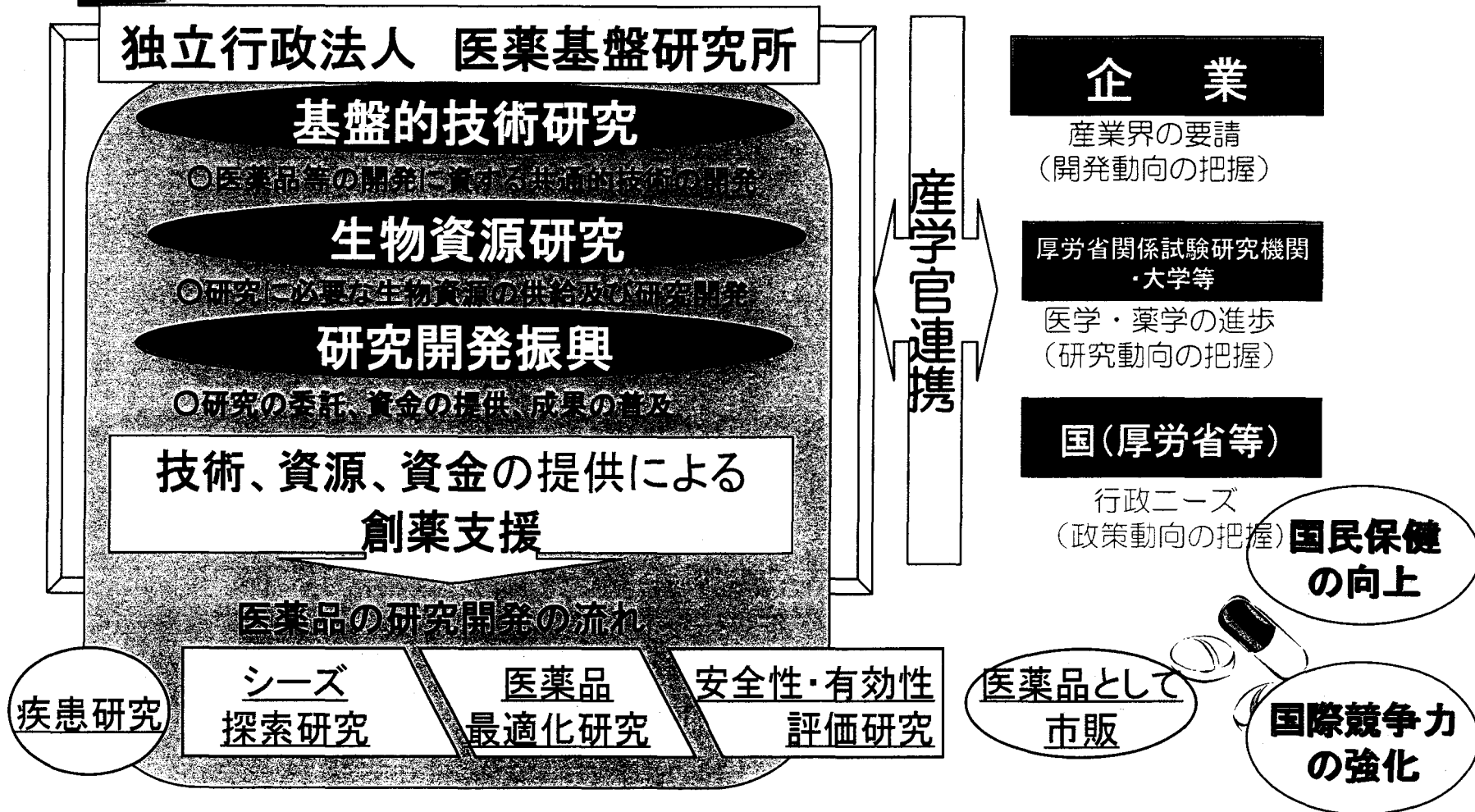
## (1) 沿革

医薬基盤研究所は、国立医薬品食品衛生研究所大阪支所を主な母体に、国立感染症研究所、独立行政法人医薬品医療機器総合機構の組織の一部を統合して、平成17年4月に創設



## (2) 目的と事業

医薬基盤研究所は、創薬支援に特化した独立行政法人として以下の三つの事業を行い、民間企業、大学等における新たな医薬品・医療機器の開発を目指した研究開発を支援



# (3) 医薬基盤研究所の業務と連携

## I 基盤的研究

医薬品等の開発を行う際に共通的に利用できる技術の開発

医薬品安全性予測研究

医薬品安全性予測のための毒性学的ゲノム研究

疾患関連たんぱく質研究

ヒト試料を用いた疾患関連たんぱく質の解析研究

疾患関連たんぱく質の有効活用のための基盤技術開発

生活習慣病等の細胞内シグナルに関する研究

バイオインフォマティクスに関する研究

免疫・ワクチン研究

新世代ワクチン・抗ウイルス剤開発基盤研究

新世代抗体産生基盤研究

サイトカインシグナル伝達制御因子に関する研究

横断的技術研究

疾患モデル動物研究

遺伝子導入技術開発

国立衛研  
HS財団  
ナショナルセンター  
感染症  
大学  
製薬企業  
との連携

## II 生物資源研究

医薬品等に関する試験研究に用いるための生物資源の研究

研究資源バンク (JCRB※)

遺伝子

細胞

小動物

薬用植物資源  
研究センター

霊長類医科学  
研究センター

製薬企業  
研究者  
への供給  
ナショナルセンター  
等との連携

※JCRB: Japanese Collection of Research Bioresources

## III 研究開発振興

医薬品等の開発に関する研究の委託と成果の普及  
希少疾病用医薬品等の開発振興

基礎的研究業務  
(基礎研究推進事業)

→基礎研究の成果を基にした  
医薬品・医療機器の開発

大学、研究機関を支援

研究振興業務  
(実用化研究支援事業)

→ベンチャー企業による  
医薬品・医療機器の実用化

ベンチャー企業を支援

希少疾病用医薬品等  
開発振興業務

→希少疾病用医薬品等の  
開発支援

オーファン開発企業を支

## 2. 独立行政法人の制度上の課題

### (1) 人材確保

○ 研究開発には優れた人材が最大の財産

研究人材の減少は、研究開発の衰退に。

人材育成は公的機関の大きな役割。

NIBIO(医薬基盤研究所)では、人材確保・研究体制の整備に努力

製薬企業など創薬現場のニーズに基づく新規プロジェクトの設置。

プロジェクトチーム制、任期制による流動性の高い研究体制を構築。

### ○ 課 題

研究員を含めた人件費・一般管理費を年率3%で削減する

### 中期目標

他の研究開発型独法と比べても極めて厳しい削減目標。

### ○ 改善策

研究員については、他の独法と同様の削減率(年率1%)の適用を。

人件費だけでなくその他の事業費も含めた柔軟な削減目標に。



## (2) 経営努力を促すインセンティブの付与

### ① 自己収入額に係る運営費交付金削減の緩和

- ・NIBIOでは、生物資源の分譲、施設利用など自己収入確保に努力。

#### ○課題

- ・自己収入の5年平均額を第二期の運営費交付金から削減。  
(自己収入の増額努力を払うほど運営費交付金が削減される仕組み)

#### ○改善策

- ・削減額を自己収入額の一部に止めるなど経営努力を促す仕組みに。



## (2) 経営努力を促すインセンティブの付与

### ② 目的積立金の認定基準の弾力化

#### 目的積立金制度

経営努力による利益を次年度に繰越し、研究環境の改善等に充当できる仕組み。

#### ○課題

経営努力の認定基準が厳しく、結局は利益を国に返納。

自己収入額が前年度実績を上回ること等が要件。(右肩上がりが前提)

中期目標期間を跨ぐ場合には目的積立金の計上が認められない。

#### ○改善策

独法の経営努力を促すという本来の趣旨に沿った仕組みに。



### (3) 正当な評価とメリハリのある予算配分

---

#### ○課題

- ・中期計画の達成度を指標とした評価。
- ・画一的なルールに基づく事業費・一般管理費等の削減目標。  
(事業費年率1%、一般管理費年率3%の削減)

#### ○改善策

- ・画期的な医薬品開発への貢献を正当に評価する仕組みに。
- ・一律削減ではなく、評価結果に基づくメリハリのある予算配分を。